

ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

<2755> <2756>

(為替ヘッジあり)追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：F E グロバ有

(為替ヘッジなし)追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：F E グロバ無

第8期 2020年5月19日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される世界の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(為替ヘッジあり)

第8期末	基準価額	9,120円
	純資産総額	31,459百万円
第8期	騰落率	△13.3%
	分配金	0円

(為替ヘッジなし)


第8期末	基準価額	10,060円
	純資産総額	35,842百万円
第8期	騰落率	△13.8%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇SKU0275520200519◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

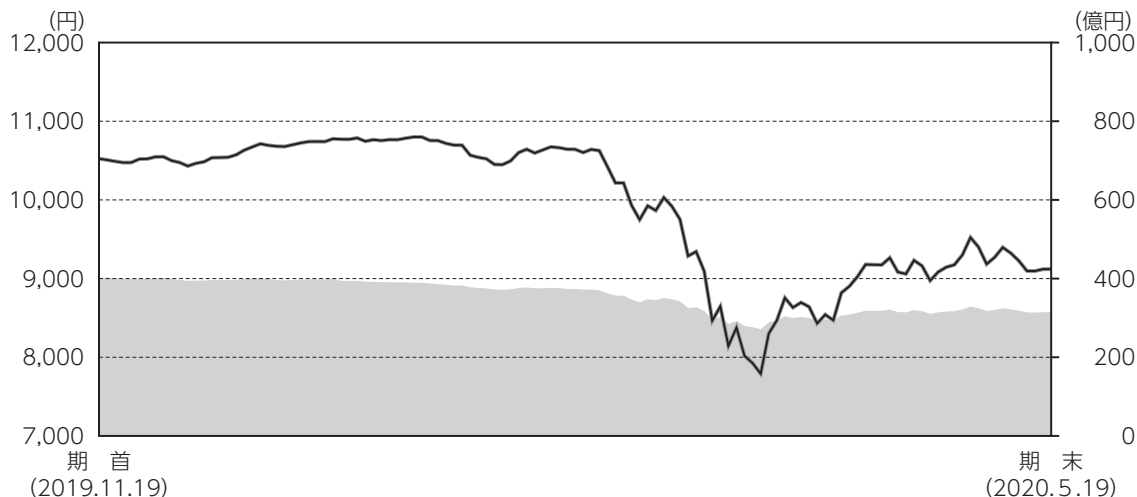
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択

為替ヘッジあり



運用経過

基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,524円

期末：9,120円（分配金0円）

騰落率：△13.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

マスターファンドを通じて割安と判断される世界の株式等に投資し、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行った結果、主に先進国株式市況が下落したことから、基準価額は下落しました。なお、為替ヘッジにかかるコストは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※マスターファンド：ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019.11.20~2020.5.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.533%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,905円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0.137)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(38)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.536	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

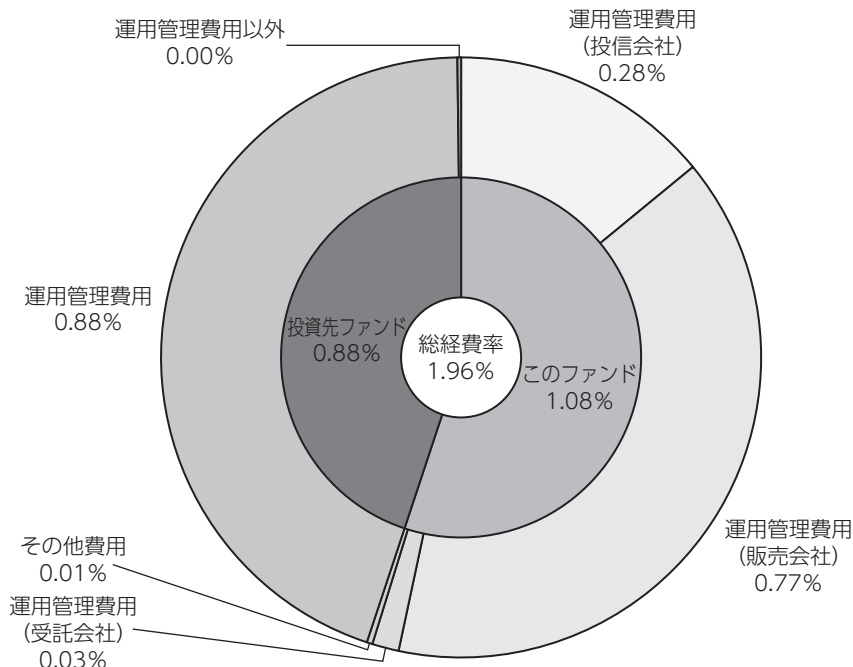
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



総経費率 (①+②+③)	1.96%
①このファンドの費用の比率	1.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.88%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

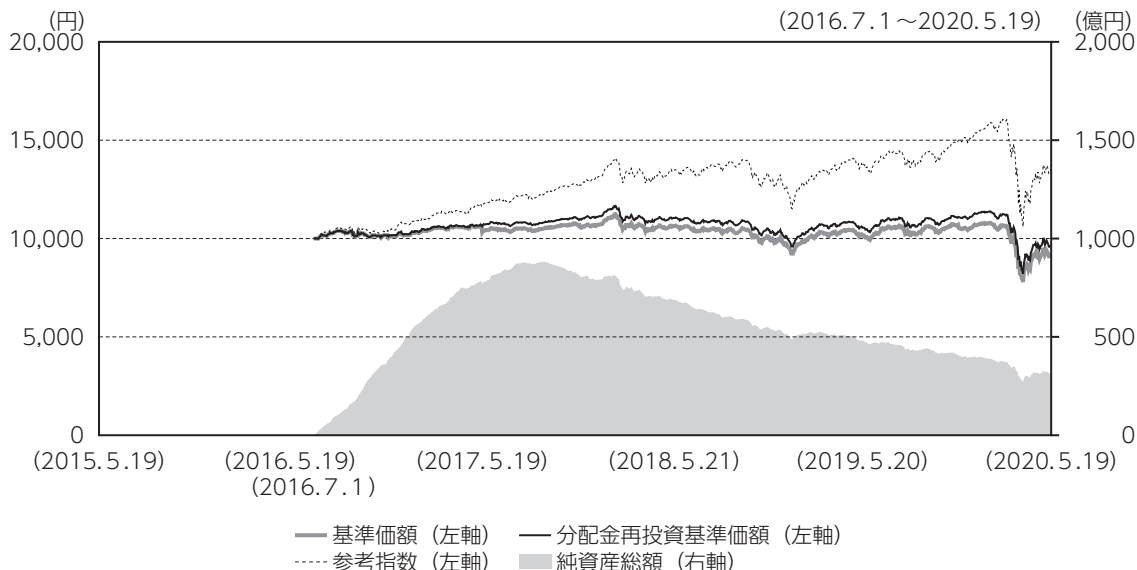
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2016年7月1日を10,000として指数化したものです。

*参考指数はMSCIワールド指数 (配当込み、米ドルベース) です。

		2016年7月1日 設定	2017年5月19日 決算日	2018年5月21日 決算日	2019年5月20日 決算日	2020年5月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,318	10,635	10,156	9,120
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	300	100	0	150
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.2	4.0	△4.5	△8.9
MSCIワールド指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率	(%)	—	16.3	15.5	2.3	0.1
純資産総額	(百万円)	15	76,489	68,768	47,950	31,459

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) MSCIワールド指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIワールド指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIワールド指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2019.11.20~2020.5.19)

■先進国株式市況

先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

先進国株式市場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商交渉の進展などが好感され、上昇しました。3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済への悪影響が懸念されたことや、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議決裂による原油価格の急落などを受けて、大きく下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、反発しました。

■金市況

金市況は上昇しました（米ドルベース）。

金価格は、2020年3月中旬には、世界的な株安で現金確保を目的とした売りにより下落する場面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産としての需要が高まり、おおむね上昇しました。

株価指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。なお、米ドル建てのマスターファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。

■マスターファンド

資産の保全を最優先に投資を行います。また、割安と判断される世界の株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.11.20~2020.5.19)

■当ファンド

当ファンドは、マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、マスターファンドへの投資比率を高位に維持しました。また、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行いました。

■マスターファンド

対象企業の株価が、想定する本源的価値に対し著しく割安であれば投資を行い、割安度が縮小するに従い徐々に売却するという投資行動をとりました。これは、十分に割安な水準で投資を行う方がより安全であると考えているためです。現金比率については、当作成期首は約13%、当作成期末も約13%となり、ほぼ同水準でした。

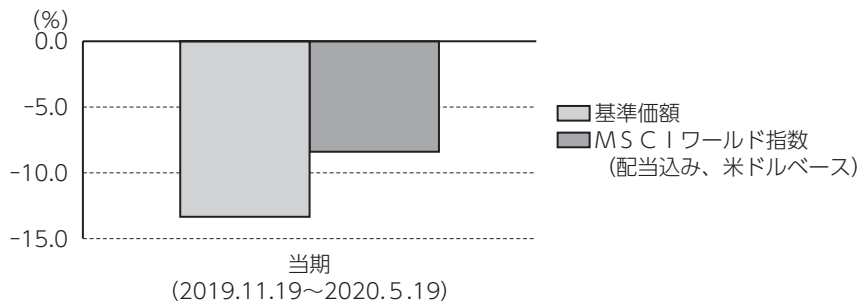
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益と売買益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年11月20日 ～2020年5月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	211

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。なお、米ドル建てのマスターファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。

■マスターファンド

資産の保全を最優先に投資を行います。また、割安と判断される世界の株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



お知らせ

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

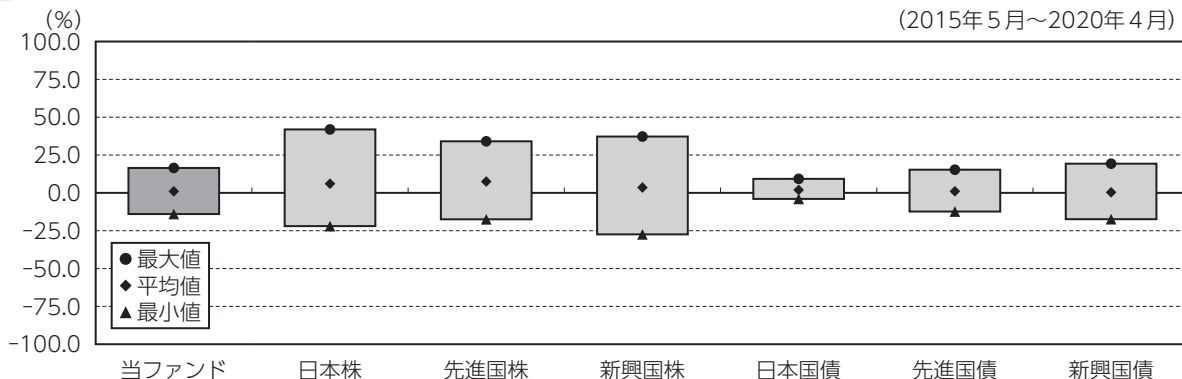


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約9年11カ月間（2016年7月1日～2026年5月19日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	1. ケイマン籍の外国投資信託「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」の受益証券（米ドル建） 2. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」（以下「マスターファンド」といいます。）の受益証券を通じて、割安と判断される世界の株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行いません。 ②当ファンドは、マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③マスターファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行なうことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	16.5	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
平均値	1.0	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最小値	-14.0	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI 国債

先進国債……………FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



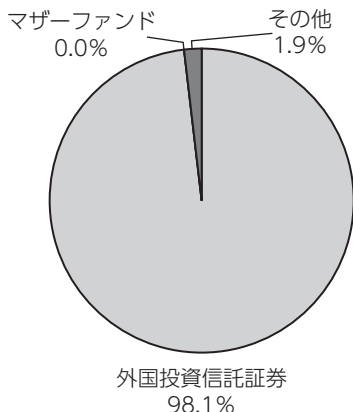
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

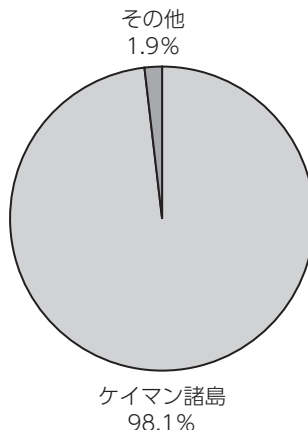
組入ファンド等

	比率
マスターファンド	98.1%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.9

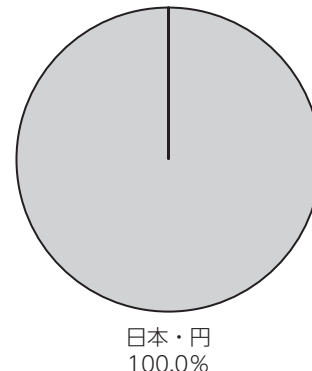
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2020年5月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2020年5月19日
純資産総額	31,459,781,415円
受益権総口数	34,494,561,021口
1万口当り基準価額	9,120円

* 当期中における追加設定元本額は953,696,973円、同解約元本額は4,683,462,655円です。

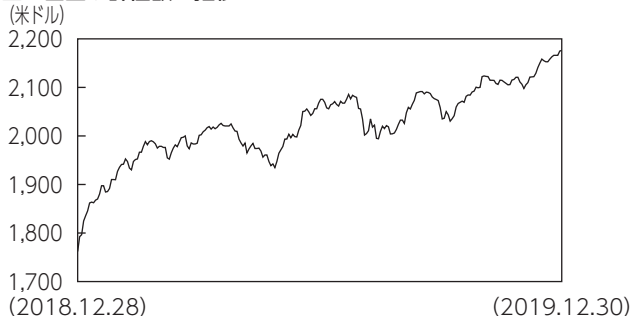
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド

(作成対象期間 2019年1月1日～2019年12月31日)

■1口当り評価額の推移



(注) 期間は、日本の営業日の期間としております。

■1口当り費用の明細

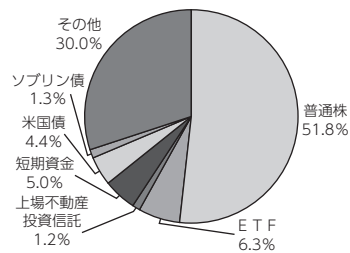
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
SPDR GOLD SHARES	米ドル	9.0%
ORACLE CORP	米ドル	2.2
TREASURY BILL 0% 01/09/2020	米ドル	2.1
TREASURY BILL 0% 02/04/2020	米ドル	2.1
TREASURY BILL 0% 02/06/2020	米ドル	2.1
COMCAST CORP	米ドル	2.0
EXXON MOBIL CORP	米ドル	1.8
WEYERHAEUSER CO	米ドル	1.7
FANUC CORP	日本円	1.6
KDDI CORP	日本円	1.6
組入銘柄数		138銘柄

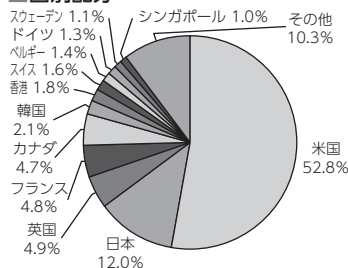
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■資産別配分



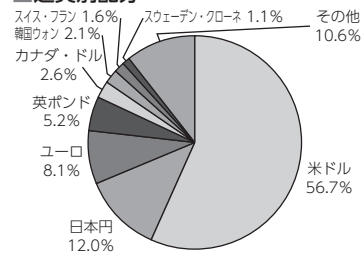
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■国別配分



(注) 比率は投資有価証券合計に対する比率です。

■通貨別配分

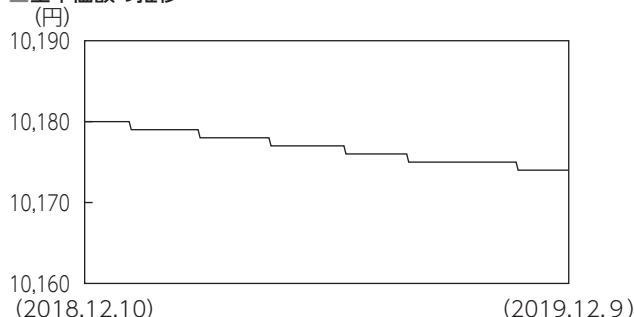


(注) 比率は投資有価証券合計に対する比率です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

■基準価額の推移



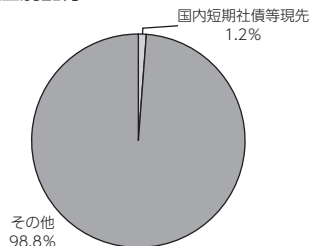
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

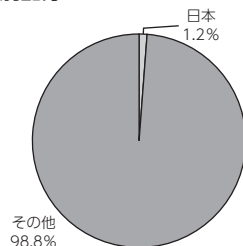
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
野村証券 (C P 現先)	1.2%
組入銘柄数	1銘柄

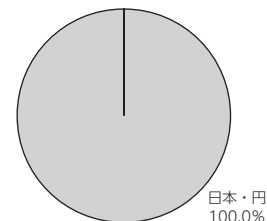
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

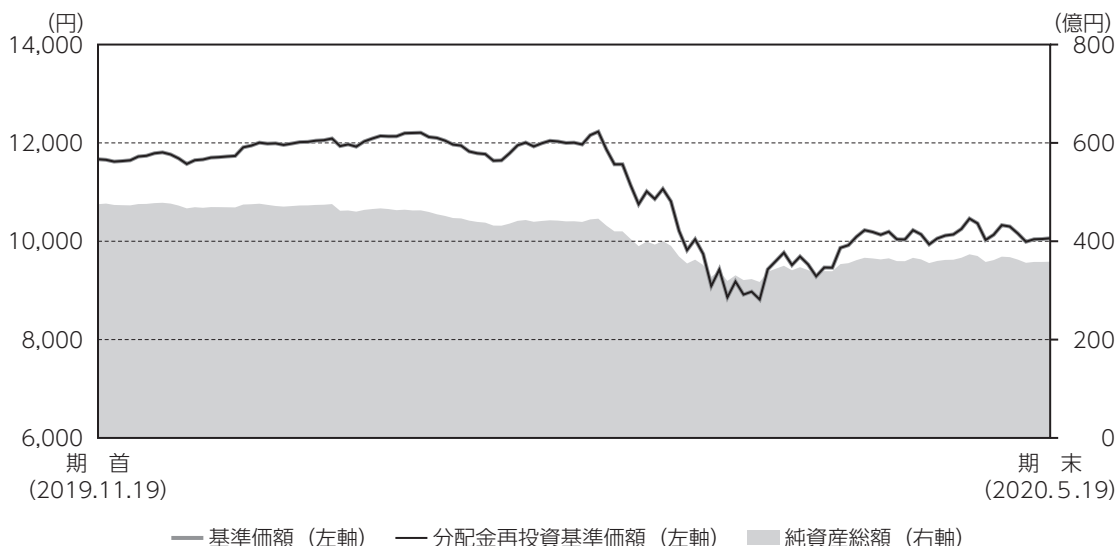
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

為替ヘッジなし



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,668円

期末：10,060円（分配金0円）

騰落率：△13.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

マスターファンドを通じて割安と判断される世界の株式等に投資した結果、主に先進国株式市況が下落したことから、基準価額は下落しました。なお、米ドル円為替相場においても、円高米ドル安となり、基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※マスターファンド：ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.11.20~2020.5.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.533%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,031円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.137)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	59	0.536	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

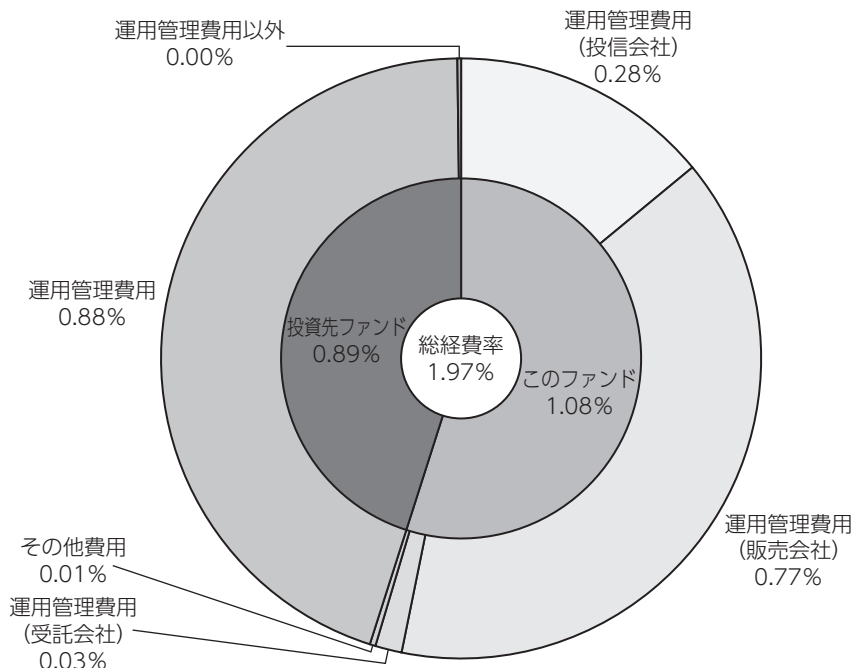
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率 (①+②+③)	1.97%
①このファンドの費用の比率	1.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.88%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

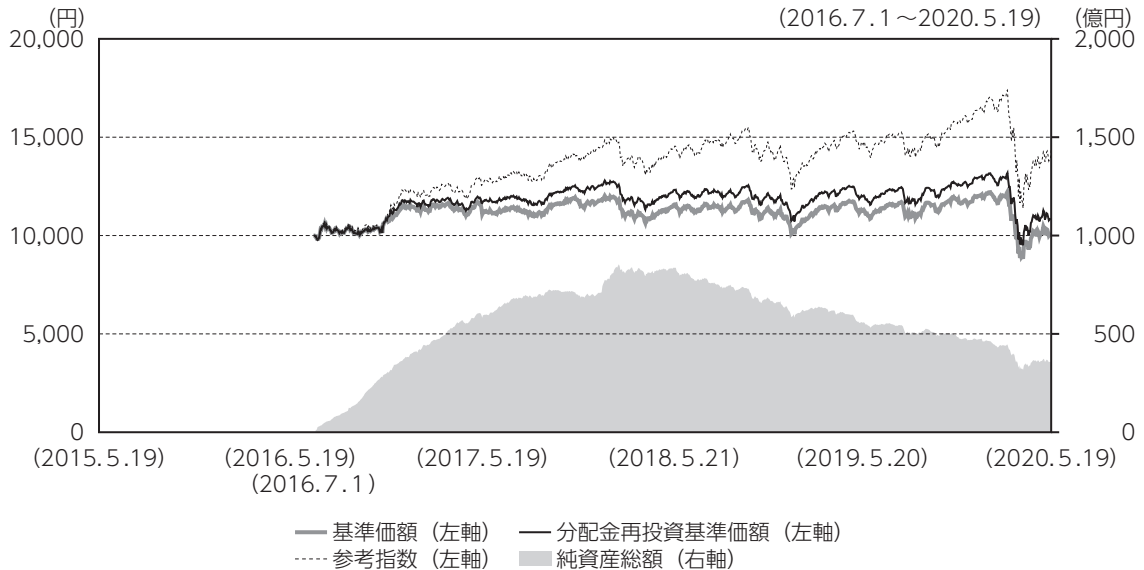
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2016年7月1日を10,000として指数化したものです。

*参考指数はMSCIワールド指数（配当込み、円換算）です。

	2016年7月1日 設定	2017年5月19日 決算日	2018年5月21日 決算日	2019年5月20日 決算日	2020年5月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,082	11,575	11,260	10,060
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	550	150	0	150
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	16.5	5.8	△2.7	△9.5
MSCIワールド指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	25.9	15.2	1.5	△2.5
純資産総額 (百万円)	15	58,204	83,648	55,727	35,842

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) MSCIワールド指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIワールド指数（配当込み、米ドルベース）をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCIワールド指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2019.11.20~2020.5.19)

■先進国株式市況

先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

先進国株式市場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商交渉の進展などが好感され、上昇しました。3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済への悪影響が懸念されたことや、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議決裂による原油価格の急落などを受けて、大きく下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、反発しました。

■金市況

金市況は上昇しました（米ドルベース）。

金価格は、2020年3月中旬には、世界的な株安で現金確保を目的とした売りにより下落する場面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産としての需要が高まり、おおむね上昇しました。

■為替相場

米ドル円為替相場は小幅に下落（円高）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては小動きでした。2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。3月下旬にかけては、市場の混乱が米ドル需要の高まりにつながったことから反発しました。その後当作成期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて市場が落ち着いたことから米ドル買いの動きが抑制され、当作成期首と比べ小幅安の水準まで下落しました。

株価指数の推移



為替相場の推移



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■マスターファンド

資産の保全を最優先に投資を行います。また、割安と判断される世界の株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.11.20~2020.5.19)

■当ファンド

当ファンドは、マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、マスターファンドへの投資比率を高位に維持しました。

■マスターファンド

対象企業の株価が、想定する本源的価値に対し著しく割安であれば投資を行い、割安度が縮小するに従い徐々に売却するという投資行動をとりました。これは、十分に割安な水準で投資を行う方がより安全であると考えているためです。現金比率については、当作成期首は約13%、当作成期末も約13%となり、ほぼ同水準でした。

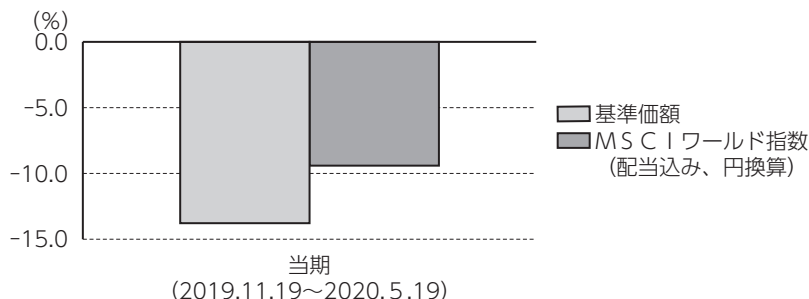
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益と売買益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2019年11月20日 ～2020年5月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	906

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■マスターファンド

資産の保全を最優先に投資を行います。また、割安と判断される世界の株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



お知らせ

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

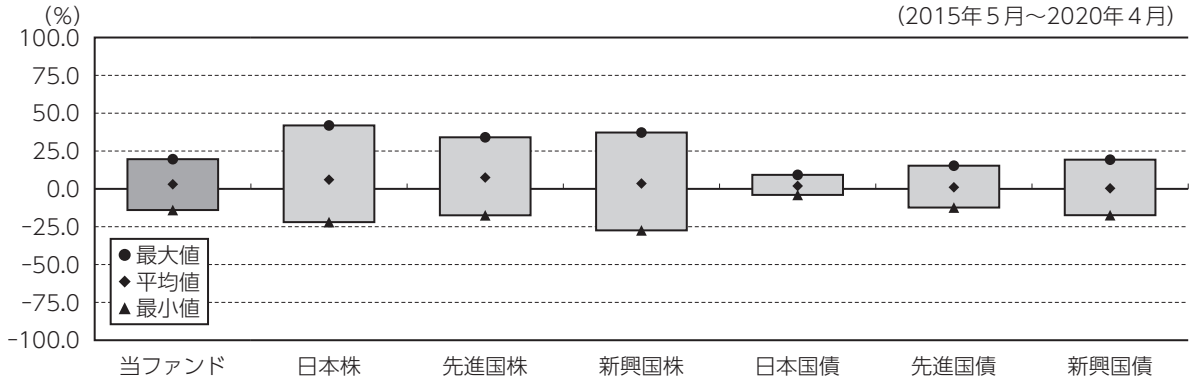


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約9年11カ月間（2016年7月1日～2026年5月19日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	1. ケイマン籍の外国投資信託「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」の受益証券（米ドル建） 2. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」（以下「マスターファンド」といいます。）の受益証券を通じて、割安と判断される世界の株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行いません。 ②当ファンドは、マスターファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、マスターファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.6	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
平均値	3.0	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最小値	△14.0	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



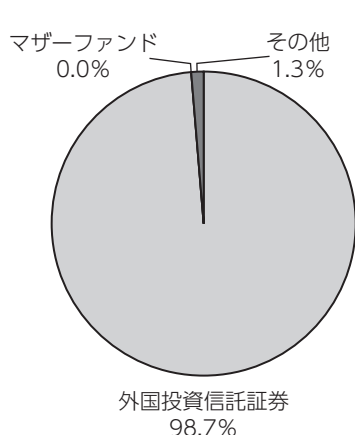
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

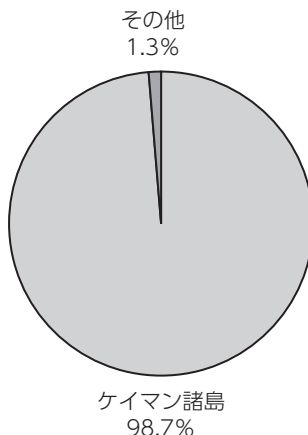
組入ファンド等

	比率
マスターファンド	98.7%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.3

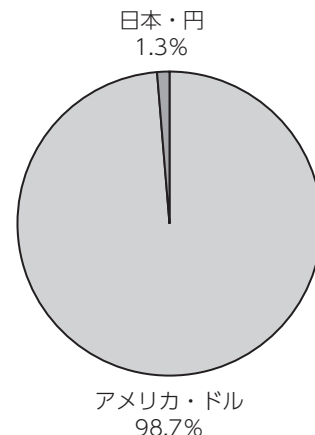
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2020年5月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2020年5月19日
純資産総額	35,842,048,423円
受益権総口数	35,628,562,066口
1万口当り基準価額	10,060円

*当期中における追加設定元本額は1,118,925,129円、同解約元本額は6,233,748,682円です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド

（作成対象期間 2019年1月1日～2019年12月31日）

11ページをご参照ください。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

12ページをご参照ください。

Memo

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management